

2015 

vol.7

紀の国わかやま国体

The 70th National Sports Festival in Wakayama

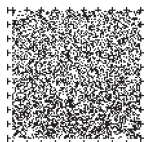
マスコットデザイン決定



マスコット
愛称募集中!!



音声コード



音声コードは読み上げ装置にて、
情報を音声で聞くことができます。

株式会社紀陽HD女子バスケットボール部「ハートビーツ」のみなさん

2015

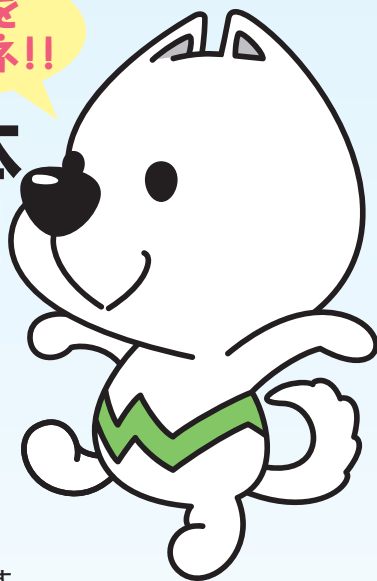


紀の国わかやま国体

マスコット愛称募集!!

<プロフィール>

紀州犬をモチーフにした元気いっぱいのマスコット。体の緑色のマークは、和歌山の頭文字Wと豊かな緑を表現。生まれ育った和歌山の自然とスポーツが大好き。いろんなことにチャレンジして、たくさんの人と友だちになりたいと思っています。頑張る人を応援し、紀の国わかやま国体を盛り上げていきます。



名前を
つけてネ!!

募集期間▶平成23年8月19日(金)まで(当日消印有効)

応募資格▶特に制限はありません。どなたでも応募できます。

賞及び賞金▶応募作品の中から、次のとおり最優秀賞及び優秀賞を選定し、賞状及び賞金を授与します。なお、受賞者が中学生以下の場合には、賞金相当の図書カードを授与します。

①最優秀賞 1点 賞金5万円 ②優秀賞 3点 賞金1万円

募集方法▶応募リーフレットについている専用はがき、官製はがき、FAX又はインターネット(パソコン、携帯電話)のいずれかの方法で応募してください。詳しくは、応募リーフレット(各振興局、市町村役場などで配付)または下記問い合わせ先まで。

問い合わせ先▶〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

第70回国民体育大会和歌山県準備委員会事務局(和歌山県庁国体準備課内)

「マスコット愛称募集係」

☎073-441-2579 FAX 073-427-5377

紀の国わかやま国体

検索

今年の1月17日から3月11日まで、県内のデザイン関係者からマスコットデザインを募集したところ、47者(社)から102作品の提案があり、県準備委員会による審査の結果、紀州犬をモチーフにした作品に決定しました。

紀の国わかやま国体の
マスコットデザインが決定しました。

2015



The 70th National Sports Festival in Wakayama

会場地市町村及び 開催競技(正式・特別)

会場地市町村	競技名
和歌山市	総合開・閉会式
	陸上競技
	水泳(競泳・水球)
	テニス
	体操(競技・新体操)
	バスケットボール
	セーリング
	ウエイトリフティング
	ハンドボール
	自転車(トラック)
	相撲
	フェンシング
	柔道
	ライフル射撃(CP)
	高等学校野球(硬式)
海南市	バスケットボール
橋本市	サッカー
有田市	バレーボール
御坊市	ソフトボール
田辺市	軟式野球
	バレーボール
	軟式野球
	サッカー
新宮市	ボクシング
	軟式野球
	弓道
	サッカー
紀の川市	自転車(ロード)
	高等学校野球(軟式)
	サッカー
	ハンドボール
	ソフトボール

会場地市町村	競技名
岩出市	ハンドボール
	バドミントン
	ボウリング
紀美野町	ホッケー
かつらぎ町	ゴルフ
九度山町	なぎなた
湯浅町	軟式野球
日高町	ホッケー
印南町	ゴルフ
みなべ町	軟式野球
	山岳
日高川町	カヌー(スプリント)
	アーチェリー
白浜町	ソフトテニス
	卓球
	空手道
上富田町	サッカー
	軟式野球
那智勝浦町	ラグビーフットボール
	レスリング
	剣道
北山村	カヌー
	(スラローム・ワイルド)
串本町	サッカー
	ラグビーフットボール
	高等学校野球(軟式)

【県外開催の競技】

門真市(大阪府)	水泳(飛込・シンクロ)
大津市(滋賀県)	ボート

※馬術、ライフル射撃(CP除く)、クレール射撃については検討中

国体では、「正式競技(天皇杯皇后杯の成績対象)」と「特別競技(高等学校野球)」のほか、全国の競技者が参加対象の「公開競技」と県内に居住されている子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層の方を参加対象とした「デモンストレーションスポーツ(デモスポ)」が実施されます。

今後、各会場地市町村において、実施が決定したデモスポを体験できるイベントが開催される予定です。各イベントの開催日時等については、紀の国わかやま国体ホームページをご覧ください。

(デモスポについては、現在、最終となる選定を進めており、実施行事数が増える予定です。)

【公開競技及びデモンストレーションスポーツ(第一次選定)】

会場地市町村	競技・行事名
海南市	日本拳法
	武術太極拳
	カローリング
橋本市	ソフトバレーボール
田辺市	合気道
	インディアカ
	キンボール
紀の川市	綱引
	ベタング
	パラグライダー・
	ハングライダー

※赤字は公開競技

会場地市町村	競技・行事名
紀美野町	パークゴルフ
	ゲートゴルフ
高野町	ゲートボール
広川町	パワーリフティング
有田川町	リレーション3
	(3人制ゲートボール)
由良町	ウォークラリー
美浜町	ビーチボールバレー
すさみ町	グラウンド・ゴルフ
太地町	ウォークラリー
古座川町	ウォーキング

公開競技・デモンストレーションスポーツ(第一次選定)の
実施競技(行事)及び会場地市町村が決定しました。

PLAYER'S VOICE

（株）紀陽HD 女子バスケットボール部

「ハートビーツ」

- フォワード：安川明穂／広倉千夏／三矢紗由季／菅沼夏菜／高橋咲
- センター：青山詠美
- ガード：前川綾香／中川優／武内彩乃



太鼓判を押す選手9人は、昨年の全日本大学選手権などで活躍、今春卒業したばかりの若さ溢れる精鋭。教員志望だった主将の安川にハートビーツ入りを決断させたのは小野監督の「一緒に苦労してくれないか」の一言。また安川は、「全く何もないスタートからチームづくりを始められることにも魅力を感じた」という。

チームの使命は地元国体優勝だが、「そこはゴールじゃなく通過点。目標はWリーグに上がることです」と日本トップのコートに照準を合わせる。目指すは「和歌山の人たちに愛されるチーム」。そのために社会人のルールやマナー、身だしなみなど「社会人としての自覚、意識を高めて学生の延長のようなチームにはしたくない」と主将としての使命感を口にする。

紀の国わかやま国体での好成績と県バスケットボール界の強化を使命に今春誕生した「紀陽ハートビーツ」は、県内唯一の実業団女子バスケットチーム。5月初旬に行われた国体選手選考会を兼ねた第65回春季バスケットボール大会女子の部を圧倒的な力で制して好発進を切り、関係者らの期待も高まる。紀陽ファイブの鼓動（ハートビーツ）が高まるとともに県全体のボルテージも上昇し、4年後に最高潮を迎える。



選手に練習メニューの説明をする小野監督（左）

メンバーで唯一の和歌山出身の武内は「和歌山にはお世話になった先生たちが多くいる。その恩返しを自分ができる範囲でやっていきたい。こんな形で和歌山に貢献できる私は恵まれています」と喜び、「小中高生のお手本となるようなチームにしていきたい」と気を引き締める。チームは県バスケット界の底上げと裾野拡大を目的にジュニア育成のためのクリニックなども展開していくが、プライベートでも積極的に地域のジュニア選手らと交流を図っていくことが武内の恩返し。

夏の国体近畿ブロック予選へはハートビーツの選手を中心に県選抜チームを構成して国体出場権獲得に挑む。県選抜チームも率いる小野監督は「優勝しか狙っていません」と強気だ。

やってこいと言われ、自分の経験が生かせるならと決意した」と打ち明ける。そんな小野監督が「いい選手がそろった」と



練習に励む紀陽ファイブ

競技・選手を支える人

大学で寮長に誘われるままにボート部へ。柔道で鍛えた腕力に自信があり「力さえありゃいけるかなと思って入部したが、そんなに甘いもんじゃなかった」。

現役時代はナックル種目（舵取り1人、漕ぎ手4人）の漕ぎ手の一人。「4人が同じ動きをすることが大事。一人が違った動きをすればスピードは倍マインスになる」とチームプレィの大切さ、ボートの奥深さを知った。「だからよくケンカをした。でもそうじゃないと強くなれない」ことを知り「今もボートの上ではどれだけケンカをしても良い、上下関係の遠慮は必要ない」と教える。

高校時代から体育教師を目指した。しかし、和歌山県教委に採用後、学校現場へ配属されるまで10年以上かかった。和歌山北高のボート部顧問に就いたころには「指導方法はコロッと変わっていた。カルチャーショックだった」。県内校にも太刀打ちできない弱小ボート部のレベルアップを図るには、まず自身の指導力をあげる必要があった。当時から全国大会の上位常連校だった大学時代のボート仲間の教師から指導法を盗み「全て真似するところから始めた」と振り返る。

「蹴り出したあとは自分」がモットー。「蹴り出す」は出艇の意で、ボートの上は「選手自身の戦い」。練習中は安全上、モーターボートで伴走するが常に一艇だけを見ているわけにはいかない。「さぼりたかったらなんぼでもさぼれる。強くなりたいなら一生懸命やらんことをやるだけ」と自主性がものいう世界。選手の「意欲と努力」が成長を後押しする。

県ボート協会理事長として紀の国わかやま国体の準備に追われる。「大変やけどチャンスでもある」と国体開催をきっかけに施設の充実、選手の強化に期待する。教え子たちも運営のサポート、成年選手として県ボート界を支えてくれている。「若い力は心強い」と目を細める。



県立和歌山北高校体育教諭 ボート部顧問
県ボート協会理事長
かど

門 梯次氏

1951年旧粉河町（現紀の川市）生まれ。粉河高時代は柔道部（5人乗り）連覇。76年に県教委入庁、南紀スポーツセンター配属。87年に県和歌山商高、89年から和歌山北高教諭。91年、男子シングルスカルの川原有司を擁して全国選抜、石川国体へ初出場。以降インターハイを含む高校3大会に出場する選手を多く育てた。09年の世界U-23選手権男子軽量級舵手なしフォアで2位となり日本初のメダルを獲得した田中大誠（当時早稲田大、現和歌山西高教諭）もその一人。田中は北高在学中の06年にアジア・世界ジュニア選手権に出場し、アジア1位（ダブルスカル）、世界2位（舵手なしフォア）に輝いた。



練習前に部員らとミーティングをする門監督

シリーズ

競技紹介

山岳



08年から人工壁で競うクライミングに生涯スポーツとしての楽しさ「体を使ったパズル」

かつては自然の山岳を15^{キロ}の荷重を背負って走るレース形式の種目が実施されていたが、2008年の大分国体から登るための突起（ホールド）がついた人工壁を使って行うリード競技とボルダリング競技のスポーツクライミング2種目で争うようになった。

リード競技は、手足の力だけで高さ12メートルの人工壁の決められたルートを登る競技。選手は安全確保のための支点到ループを通しながらクライミングする。国体競技ではチームの選手2人が左右に分かれて同時にクライミングし、制限時間内でその到達距離を競う。選手の試技は一回のみで、落下すれば競技終了となる。



写真提供: 日本山岳協会

リード競技の様子(千葉国体成年女子)

大会で使用するルートは競技開始まで公開されない。これは、登る手順やホールドの大きさ、人工壁の角度などを公開し

てしまうと事前に人工壁を見た者と見ない者との不公平を生じさせてしまうためであり、競技前の選手や監督は専用の控え室に隔離され、人工壁を確認できるのは、競技開始直前に行われる6分間の下見のみに限られる。



写真提供: 日本山岳協会
ボルダリング競技の様子(千葉国体成年女子)

ボルダリング競技も国体競技では2人制のチーム戦で競う。ボルダリングとは元来ボルダー（河原などにある大きめの石ころ）を登ることを意味する。高さ6メートル、幅5メートルの人工壁に設定された4つのルート（課題）を順にループをつけず手足の力だけでクライミングする。落下すれば競技終了となるリード競技と違い、制限時間内なら何度登り直してもよく、選手2人の完登（課題をスタートからゴールまで登り切ること）の合計数で順位を決定する。

人工壁は屋内に設けられているケースが多く、山岳競技はかつてと違って都市



ボルダリング競技のフィールドとなる人工壁(和歌山市神前のクライミングジムトウール)

型スポーツとしての色合いが濃くなった。県山岳連盟の白子欽也競技委員長は「全国的にみて和歌山県の競技人口は少ない方」と話し、競技人口の裾野拡大が課題となっている。

このため連盟では3年前からジュニア層の育成、発掘に努めており、その成果もあって昨年12月の全国選抜大会では双子の高校生・小畑侑大、佳功兄弟（現和歌山北高3年生）が全国14位の好成績を収めた。国体へはこれまでに、近畿ブロック予選のない成年男子の出場はあるものの少年男女、成年女子は近畿の壁を越えていない。小畑兄弟の成長によって少年男子で初の国体出場、上位進出の期待が高まる。

4年後の地元国体も、好成績を得る力ギはジュニア選手が握る。競技開催地であるみなべ町や和歌山市では、週1回の練習会の実施などによりジュニア選手が育ってきており、特にクライミングに必要なバランス感覚、跳躍力、体幹の強い選手の出現を待つ。「クライミングは体を使ったパズルみたいな面もあり、生涯スポーツとしての楽しさ、遊び感覚の面白さがある」という魅力をアピールし裾野拡大を目指す。

2015 紀の国わかやま国体

vol.7 2011年6月発行

第70回国民体育大会和歌山県準備委員会事務局
(和歌山県国体準備課内)

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

TEL.073-441-2015 FAX.073-427-5377

URL <http://www.wakayama2015.jp/>

E-mail wakayama2015@onyx.ocn.ne.jp

ホームページは、[紀の国わかやま国体](http://www.wakayama2015.jp/)

検索

みなさまのご意見・ご要望をお待ちしております。



この印刷物は環境に配慮して大豆油インキを使用し、ユニバーサルデザインの考え方で作られています。

おしらせ情報

国体募金実施中!

紀の国わかやま国体と第15回全国障害者スポーツ大会において、ボランティア活動などの大会運営に活用させていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

